

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年																			
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 ~1日	10月 ~8日	10月 ~15日	10月 ~22日
カンピロバクター	99	99	47	48	99	77	32	48	30	46	63	57	67	75	49	29	5	7	12	6
病原性大腸菌	90	30	53	40	44	45	81	47	37	55	103	120	108	102	56	52	12	5	10	10
腸管出血性大腸菌	1	10	2	0	2	0	0	1	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0
サルモネラ	3	16	12	12	14	5	3	7	2	2	7	7	13	25	6	12	3	2	5	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	22	26	19	13	20	18	11	15	10	13	14	21	8	12	15	18	2	9	3	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	9	17	18	15	16	20	14	13	10	14	15	14	10	11	11	9	2	1	0	0
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
その他	3	4	1	5	4	1	2	1	1	2	0	0	4	8	2	1	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	1	0	0	0	1	2	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第42週(10月16日~10月22日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	8	結核	8	1	1	3				3	
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2							2	
四類	13	日本紅斑熱	13			2			1	10	
五類	15	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1					1			
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1			
		後天性免疫不全症候群	1					1			
		水痘(入院例)	2				1				1
		梅毒	10						8	1	1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
 東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり14.57人の報告があり、注意報レベル(定点当たり10.0人)を上回りました。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告が26件(前週4件)あり急増しています。手洗い、咳エチケット、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり2.66人の報告があり、減少が続いています。引き続き、基本的な感染対策を徹底しましょう。

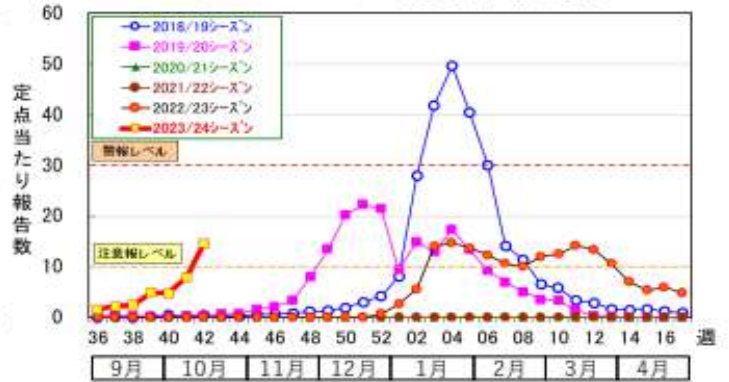
3 咽頭結膜熱

定点当たり1.04人の報告があり多い状況です。手洗いの励行、タオルの共用は避けるなど、感染予防を心がけましょう。

4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり2.74人の報告があり増加傾向です。幼児、学童を中心に、年間を通じて患者がみられますが、春から初夏、秋から冬にかけて多くなる傾向があります。感染予防には、患者との濃厚な接触を避けることや、手洗いなどが有効です。

インフルエンザの流行状況(広島市)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
インフル	インフルエンザ	510	14.57	0.17	▲	小児科	ヘルパンギーナ	16	0.70	0.79	▲
	新型コロナ(COVID-19)	93	2.66		◀		流行性耳下腺炎	-	-	0.13	
小児科	RSウイルス感染症	-	-	0.53		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	24	1.04	0.18	▶		流行性角結膜炎	11	1.38	0.60	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	63	2.74	1.07	▶	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	41	1.78	2.80	▶		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	1	0.04	0.09			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03	
	手足口病	39	1.70	1.47	▶		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.08			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	突発性発しん	5	0.22	0.44							

急増減 ▲ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ◀ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減 ▶ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい ⇄ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
5	カルバパネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	9	80歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	4	70歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	9	30歳代・エイズ
5	梅毒	8	237	20歳代・1人、30歳代・2人、40歳代・3人、60歳代・2人